

サマーキャンプ報告（2023年8月25日～27日開催）

第18回「おーきな輪 with みゃーくがに」の実行委員長を務めました宮城大雅（共催団体の小児在宅医療基金ていんさぐの会役員）が報告いたします。キャンプ関係者が心待ちにした4年ぶりの開催、そしてコロナ禍を乗り越えてのキャンパー家族たちとの再会は、私たちの心を温かく包み込みました。

このキャンプは、『コロナ禍で忘れた人と人とのぬくもりを取り戻す、一体感をいかに作り出せるか』をテーマとして細部にわたる準備を重ねてきました。しかし、4年ぶりのキャンプという期間が空いたゆえに、ボランティアの皆さんを集めるのに苦労しました。しかし、声をかけ続けることで奇跡的にイベントボランティアを含め総勢約170名の素晴らしい参加者が集まりました。そして、4年ぶりのキャンプという特別な瞬間に向け、試行錯誤を繰り返しながら、ゆったりとしたプログラムの準備に取り組み、いよいよ本番を迎えました。

【キャンプ初日】

台風の心配もありましたが、当日は快晴！皆でキャンパーを笑顔でお出迎えしました(^_^♪ クリニクラウンのポリタン、まめたんが駆けつけ、お出迎えから盛り上げてくれました。初対面のボランティアやキャンパー、実行委員にも笑顔が広がる素敵な出迎えとなりました。その後、建国式が始まりました。オープニングセレモニーでは、フルート奏者である渡久地圭さんの美しいフルート演奏！とても綺麗な音色にみんな、うっとり。恒例のていんさぐの花をみんなで歌い、国王の海晴君、王妃の愛琉ちゃんによる建国宣言を行いました。そして、ボランティアとの初顔合わせ！わいわいと楽しい会話をしながら夕食会場へ向かいました。夕食会場では、久しぶりの開放感で皆が笑顔で楽しいひとときを過ごしました。キャンプでまた会えたね！久しぶりだね！と、そんな声が聞こえていました。初日は新しい友達を作り、翌日に備えて就寝しました。

【キャンプ2日目】

晴れてとても気持ちがいい朝。みんなで早起きしてヨガの時間です。子どもたちも親と一緒にヨガを楽しむ姿は、のびのびとした幸せそうな表情で満ちていました。朝食後、いよいよ2日目のメインプログラムの開催です。

午前中は室内プログラムを中心に行いました。今年の室内プログラムは、多くの方の協力でボリュームアップ！木のたまごプール、ネイル、マッサージ、三線、ヨガ、保育遊び（レインボースカイ）、タクティールケア、かき氷コーナー、気軽におしゃべりする場：ゆんたく広場、プール遊びなどを行いました。マッサージは、やちむんぼおるやドライヘッド、リンパケアトリートメントなどがあり、キャンパーだけじゃなく、日頃の頑張りのご褒美としてお父さん、お母さんにも提供しました。

みな、この至福の時間を過ごし、笑顔が絶えませんでした。

午後は、室内プログラムに押し花体験が加わりました。そして、いよいよメインイベントの海水浴です。どんな医療的ケアを持った子ども達でも海水浴ができるようにみんなで力を合わせました。海水浴のイベントには、米国婦人福祉協会の方々が見学を訪れ、医療的ケアの必要な子どもたちが皆に支えられ、勇気を出して海に入っていく姿を見て、とても感動されていました。そして、米国の方々はいてもたってもいられず普段着のまま、海へ！！・・・皆、驚きを隠せませんでした。今回の海水浴は、国籍、地域、職種を超えてみんなで達成でき、いつも以上に興奮を覚えずにはられませんでした。

そして、その横ではキッズ団（キャンパーのきょうだい達）が大はしゃぎ！きょうだい児一人一人が主人公となり、子どもらしい遊びができるようにボランティアさんが綿密に計画してくれていました。スイカ割りやスタンプラリー、思い出工作など、素敵な思い出ができたと思います。夕食は、バーベキューです。キッズ団は新聞紙で作った衣装を身にまとってファッションショーを開催し、三線やギター演奏などで楽しいひとときを過ごしました。その夜は保護者との懇親会が開催され、大いに盛り上がりを見せました。保護者の「こんなに優しくされたことないよね。」「明日から現実に戻りたくないよね。」などの言葉から普段の苦勞が垣間見られ、私たちにとって考えさせられる夜にもなりました。

【最終日】

お別れの日がやってきました。特別なプログラムはほとんど行わず、参加者が思い思いに過ごす時間としました。そして、閉国式が開催されました。閉国式では、キッズ団が素晴らしい手話パフォーマンスを披露し、思い出の作品をキャンパー家族に贈りました。キッズ団の一人の女の子が涙ながらに感想を語る中で「お姉ちゃんとしての役割を忘れて遊んだ2泊3日だった」と語りました。ボランティアの方からは、「理想とする場所がここにあった」との言葉が飛び出し、サマーキャンプの素晴らしさを改めて感じました。

第18回おーきな輪 with みゃーくがに は、多くの方の協力のもと大成功に終わりました。難病ネットワークの皆様、参加して下さったご家族の皆様、ボランティアの皆様、いつも支えてくれている実行委員の皆様、誠にありがとうございました。2泊3日という短い時間でしたが、大人も子どもたちも、皆が心からつながり合う素晴らしいキャンプとなりました。毎回同じキャンプは実現できませんが、来年の目標は「友達から家族になろう！」という大きな課題を掲げ、さらにパワーアップしたいと思います。これからも皆様のご協力をお願い申し上げます。この素晴らしい機会を与えてくださり、本当にありがとうございました。